

2. みどりの風を感じる大阪 将来像

(1) みどりの風を感じる大阪 将来像

みどりを取り巻く状況や府民等の声をふまえ、大阪府が目指すみどりの将来像を「みどりの風を感じる大都市・大阪」として示すとともに、府民の皆さんをはじめ、市町村、NPOなどと連携し取り組んでいきたいと考えています。

みどりの風を感じる大都市・大阪とは—

美しく季節感のあるみどりの中で、
人と人、人と自然のつながりが生まれ、
さわやかな風を感じる快適なまち

集まる人・
モノ・情報



大阪らしい
みどりの風景

特色ある
スポット

都市の風格や四季の彩りある景観が形成され、みどりを活かした特色あるスポットに多くの人が集い、交流しています。

豊かな緑陰

風とおる
涼しい街



澄んだ空気

災害の防止

街路樹や河川に沿って山や海の爽やかな風が流れ込み、都心でも自然の息吹を感じることができます。

四季の彩

みどりがつなぐ、人と人、人と自然—

みどりの風を感じる大都市・大阪

親しめる
山・農空間・海



みどりの中の
遊び場・学び場

緑と水辺に
野鳥や昆虫

豊かな自然や地域の歴史文化とふれあえる場が増え、子どもたちはみどりの中でのびのび遊び、学んでいます。

校庭の芝生



CSR活動
の発展

広がる
交流の輪

みどりづくりをきっかけに、多様な人と人、人と自然とのつながりが生まれています。

(2) みどりのネットワーク図と配置方針

周辺山系やベイエリアの豊かな自然が街をつつみ、それらの自然が河川や道路を軸として街へと導かれ、そして街の中でも都市公園をはじめとする緑の拠点が緑道や街路樹などでつなげられている—

このような「みどりのネットワーク」の形成により、「みどりの風を感じる大都市・大阪」の実現を目指します。

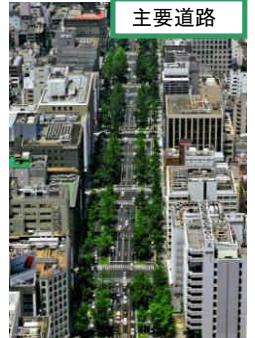
骨格となるみどりをつなげる

周辺山系、臨海部、大阪中央環状線、主要河川（猪名川、淀川、大和川、石川）、府営公園等の大規模公園をはじめとした府域の骨格となるみどりの拠点を保全・創出します。生物多様性保全につながる生き物の道（エコロジカルネットワーク）の視点も活かします。



骨格を厚く広くする

骨格となるみどりの拠点や軸の充実に加え、骨格周辺の多様な主体によるみどりづくりと連携し、骨格のみどりに厚みと広がりを持たせ、ネットワークの充実を図ります。

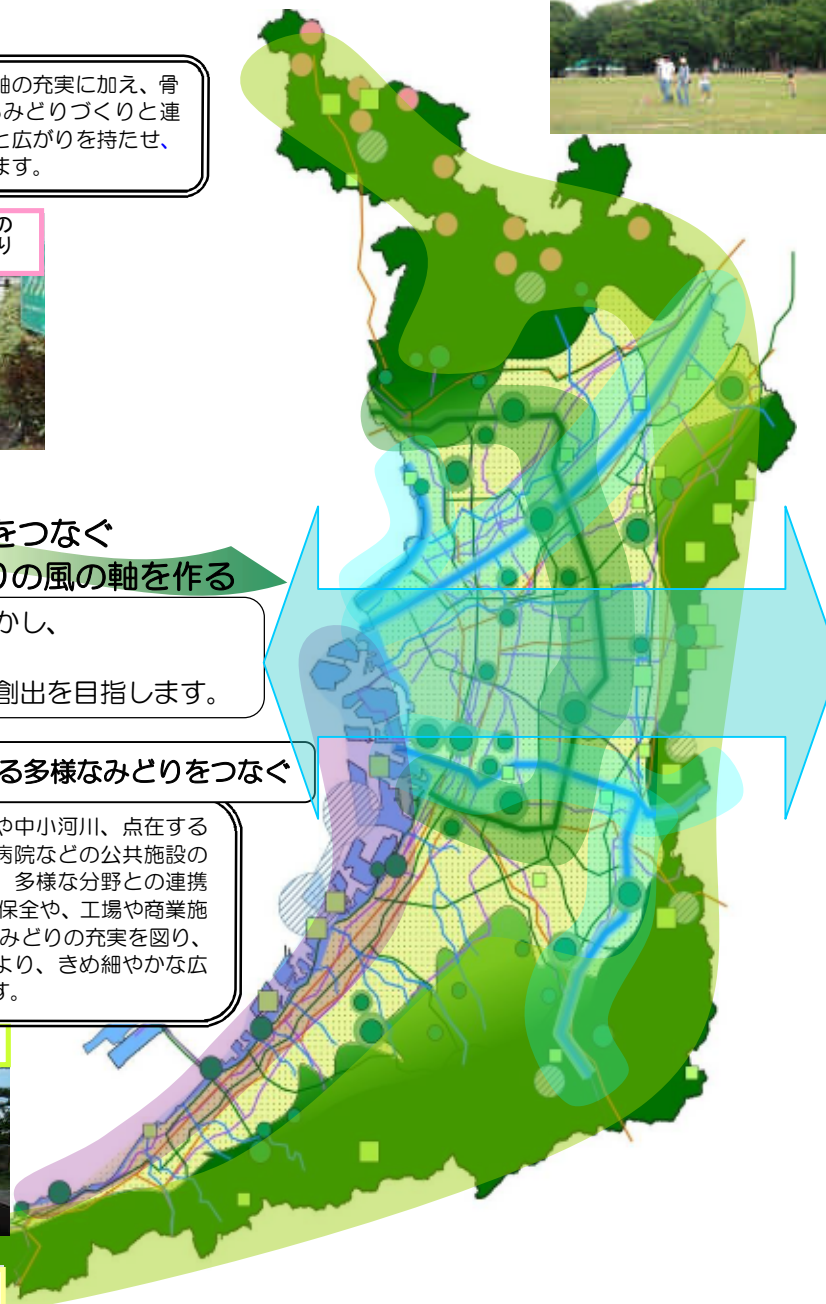


海と山をつなぐ みどりの風の軸を作る

大阪府域の地形を活かし、海と山をつなぐみどりの風の軸の創出を目指します。

公共空間や民有地における多様なみどりをつなぐ

市街地に網目状に広がる道路や中小河川、点在する公園などの都市施設や学校、病院などの公共施設のみどりを充実させるとともに、多様な分野との連携により、樹林地・農空間などの保全や、工場や商業施設、壁面・屋上などの民有地のみどりの充実を図り、互いに結びつけていくことにより、きめ細やかな広がりのあるみどりを形成します。



骨格となるみどり

	周辺山系・丘陵地
	主要河川
	大阪中央環状線
	府営公園などの大規模公園
	その他主要な都市公園（概ね30ha以上）
	臨海部
	構想段階の府営公園
	府立自然公園

骨格に準ずるみどり

	中小河川
	主要道路
	鉄道
	公園緑地に準じる機能をもつ府管理の施設
	公園緑地に準じる機能をもつ府管理の公共施設緑地
	大：概ね30ha以上 小：概ね10ha以上
	きめ細やかなみどり

(3) 計画期間と目標、指標

計画期間 : 21世紀の第1四半期(2025年(H37))まで

緑地の確保目標:「緑地」の府域面積に対する割合を約4割以上確保

緑化の目標(市街化区域):**緑被率20%(現況(H14:14%)の1.5倍)**

従来からの「樹林・樹木のみを対象とする緑被率」15%を目指しつつ、“樹木の植栽困難地でのみどりの確保”や“ヒートアイランド現象の緩和”等を早急に進める観点から、「樹林・樹木に芝生等を含む草地等を加えた緑被率」を新たな指標として設定します。

指標 府民一人ひとりにみどりを増やしたいという思いが生まれ実践するようになることが、「みどりの風を感じる大都市・大阪」の実現につながると考え、以下の指標を検証していきます。

◆大阪府域にみどりがあると感じる府民の割合を増やします

《約5割⇒約8割》

◆最近みどりに触れた(緑化活動に取り組んだ、自然に親しんだ等)府民の割合を増やします

《約4割⇒約8割》

(4) 計画の点検と見直し

- ◆具体的取組の実施状況については、取組状況や実績数値などを整理し、毎年ホームページ等で府民の皆さんに公表します。
- ◆緑被率の調査を行う「みどりの現況調査」については、技術や費用対効果などを勘案して手法や調査サイクルの検討を進めるとともに、定期的を実施します。
- ◆各目標や実績数値について定期的に検証するとともに、指標については、概ね3年ごとに政策マーケティング・リサーチ等を活用した府民アンケートにより検証します。
- ◆取組状況・指標等の検証により、必要に応じて計画を見直します。

PDCAサイクルにそった施策推進

